



タービンに送る前の蒸気について説明を受ける参加者

話題

ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1203

地球奥底の不思議を解く

こども地熱探検隊

市の大切な資源である地熱を学ぶこども地熱探検隊は8月5日、市内で開かれ、参加した安代地区の小学3～6年生5人が地熱発電の仕組みやエネルギーの活用について理解を深めました。

松川地熱発電所やイーハトーブ火山局を見学したほか、地熱染色研究所で蒸気染め、熱水ハウスでバジルの摘み取りを体験。田山小6年の佐藤智也さんは「市内には環境にやさしい地熱エネルギーがあって誇らしく思う」と笑みを広げました。



糸で絞った布を好きな色に浸して染色していきます



施設全体のつながりも考えながら意見を出し合う参加者

にぎわい創出へアイデア

大更駅前顔づくり施設ワークショップ

図書館、子育て支援、観光案内の機能を併せ持つ大更駅前顔づくり施設の活用を考えるワークショップが8月4日、市役所多目的ホール棟で開かれました。

大更商店街未来を創る会や平館高生、子育て世代の市民ら15人が参加。平館高生からは「託児や読み聞かせで関わりたい」など交流を深めるアイデアや、子育て世代からは「子どもが靴を脱いで本を読めるスペースが欲しい」など機能の充実につながる提案がありました。これらの意見は今後、設計の参考にしていきます。



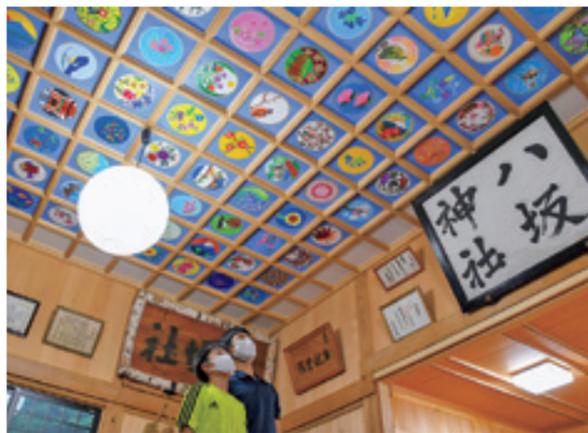
西根総合支所が隣の市民センターに仮移転。夜間や休日など閉庁時の戸籍の届け出は休止に(8月17日)



新型コロナの影響で屋台出店のない中、約3千発の花火を楽しむ市民(8月15日、八幡平ふるさと花火)



山岳遭難事故防止や救助に尽力した高橋時夫さん(中央)(7月17日、東北管区警察局長感謝状授与報告会)



自分が描いた絵を眺める大更小児童と父親

繁栄願って色鮮やかに

八坂神社創建300年の本殿改修で天井画

八坂神社は7月14日、創建300年の記念事業として進めてきた改修工事により新装された本殿とその天井に飾られた絵を披露しました。

天井画は全部で141枚。大更小5、6年生、西根中と平館高の美術部員合わせて約130人の児童生徒が花鳥木をモチーフに描きました。氏子総代責任役員代表の遠藤忠志さんは「素晴らしい出来上がりで誇りに思う。子どもたちの成長と一緒に神社と地域も栄えていければ」と願いを込めました。

使うことで身に付ける

小中学生を対象に「イングリッシュキャンプ」

英語を使った活動を通して英語力を高めることを目的としたイングリッシュキャンプ(市教育委員会、市教育研究所主催)は7月31日、市役所で開かれました。

小学5、6年生と中学生の児童生徒21人が参加。英語で八幡平の魅力を紹介するCMをグループごとに作成し、英語に対する関心を高めました。

西根中2年の小山田圭吾さんは「CMを作るという目標がはっきりしていたので、自発的に取り組めた」と充実した表情を浮かべました。



中学生はアドバイスを受けながら自分たちで撮影



オールでかじを取りながら進みます

清涼！歓声！夏到来！

館市地区で川下りイベント

館市コミュニティセンターと館市地区振興協議会は7月25日、米代川で恒例の川下りを開き、参加者約40人が夏の自然を満喫しました。

子どもと保護者がペアとなり、同センター付近から約1キロをゴムボートで川下り。途中、所々で受ける水しぶきに歓声が響きわたりました。

田山小6年の八幡瑞希君は「流れが急な場所ではボートが揺れたり、水が掛かったりして楽しい。水がとても気持ち良かった」と声を弾ませました。

隠れた名所を地域が発信

ひょうたん池などに案内看板を設置

平館青商会は7月20日、平館八幡宮付近にあるひょうたん池の良さを再認識してもらおうと平館高の生徒6人と案内看板20枚を設置しました。

見どころを文字とイラストで紹介した看板は、同校の美術部員と山岳部員が共同制作したもの。生徒たちは和気あいあいとネジ止めなどの作業を行いました。

山口侑愛さん(1年)は「雰囲気良く、きれいで落ち着く場所。地域で大切にしていれば県外からも人が来るようになってほしい」と期待を寄せました。



見どころごとに看板を立てて丁寧に案内しています



地図を広げながら人と農地の課題を共有

人と農地の未来の設計図

地域農業マスタープラン座談会

松尾・野駄・松尾寄木地区の農業の在り方を考える地域農業マスタープラン座談会が7月28日、岩手山火山防災情報ステーションで開かれました。

地域農業マスタープランは中心経営体や農地の集積・集約方針を明確化した計画書で、この日は認定農業者や関係機関が地図を見ながら課題を共有し、議論を深めました。野駄地区の立柳慎光さんは「課題が山積み今の今こそ、地域が一体となる必要がある。話し合いを重ね、一歩ずつ前進したい」と抱負を述べました。

束ねる力を身に付ける

市子どもリーダー研修会

市教育振興運動推進協議会は8月3日、市内の中学2年生、小学5年生など78人を対象に、リーダーとしての資質や能力を高める目的で研修会を開きました。

参加者は班ごとに分かれ、レクリエーションや研修を通して人との関わり方や協調性、自発的な行動の大切さを学びました。

西根中の伊藤瑠菟さんは「リーダーとしてグループをまとめる難しさ楽しさを知った。この経験を学校生活でも役立てたい」と決意を語りました。



手を挙げて自分の考えを示します

すなっぶギャラリー



両沼自治会が「花いっぱい！笑顔いっぱい運動！」で花を飾り開院をお祝い(7月29日、市立病院前)



8月は道路ふれあい月間。市建設協同組合の30社約170人が市内の道路清掃(8月7日、清掃活動開会式)



間羽松にここサロンから市立病院に千羽鶴2束が寄贈されました(8月5日、市立病院)



市教育研究所が市内小中学校教職員を対象に能力や資質を高める研修講座を開催(7月29、30の両日、市役所)



18人が参加した(一社)市体育協会主催の市民岩手山登山大会(7月26日、焼走り登山口)